

「夢は？」

理事長 島 しづ子

二年前、名古屋ダルク（薬物・アルコール依存症リハビリテーションセンター）と紙風船のイベントで、名古屋ダルクの外山憲治さんと私の対談、紙風船の人形劇「ぼくたちにできること」を公演しました。来年度も名古屋ダルクとイベントしたいと願っています。名古屋ダルク代表の柴真也さんと三人の方が2月に、紙風船を訪問下さり、その思いを一層強くしました。薬物依存症の方々が回復していくプロセスに、仲間同士の日々のミーティングが欠かせません。そこで本音で語り聴くことによって、依存している薬を使わないで過ごしていけるということ。それは「〇〇依存症」という自覚のない私たちにとっても有効なスキルだと思います。私たちの本当の気持ちを話せる場所はどこにあるのでしょうか。私たちは社会性という名のもとに、本音を隠して生きることを強いられてきました。互いの生きにくさが増すばかりです。薬物依存をストップし、回復した方々の笑顔や澄んだ目に触れるたびに、真実の美しさを思います。

名古屋ダルクを卒業して東京に行かれた津山さんが、3月のある日、10人の仲間の人とみどりの家に来てくれました。殆どの方が依存症から回復し責任者として働くカッコいい青年ばかりでした。楽しかったです。「今ほどこも人材不足なのに、ダルクは頼もしい人がいっぱいいていいね」と思いました。その時に彼らの夢を聞きました。彼らはNPO法人を立ち上げて、コーヒーを仕入れて、焙煎し、袋詰めをして販売しています。そればかりでは仕事として回復者の職場を確保できないこともあり、いろいろ模索中のようです。今後の夢は沖縄でコーヒーの苗木を育て、実を摘み、焙煎して売るということでした。「夢があるっていいなあ！」と感嘆しながら、夢を見なくなった自分を思いました。

25年前、40代前半だった私たち親は夢を語り合いました。①子どもたちの卒業後の通う場所を作ること、②職員を雇って長く働いてもらう為に社会保険に加入すること、③ひとりひとりを尊重するために一对一の介護でお世話すること、④親が安心して死ぬるように、子どもたち（今は青年です）を大事にしてくれる社会を作ること。

ありがたいことに①～③までは任意団体愛実の会～有限会社たんぼぼ～NPO法人愛実の会のおかげで、実現しました。荒唐無稽と思われた夢に寄り添って下さった方々に感謝でいっぱいです。

最近、私はこれらの仕事を後継者につなぐことに苦心しています。だから新しいことに挑戦しないという思いでした。でも、ダルクの方々に再会して考えました。ダルクの方々はどん底を見て、這い上がってきました。希望以外に何も持たない方々です。私たちも何もなかったとき、いっぱい夢を抱きました。夢以外になかったから。でも多少の安定を手にしたなら、いかにあるもので作ろうとし、力不足だとか思って諦めている自分に気が付きました。まだ④の課題は到来していません。どういう形かわかりませんが、メンバーの存在や声に耳を傾ける社会が到来し、私たち親が安心して死んでいける社会を夢みようと思います。

◆赤い羽根共同募金 助成のお知らせ◆

この度、愛知県共同募金会様より物品購入の為に助成を受けることができました。大地の家に60型の液晶テレビ、愛実友だちの家に42型の液晶テレビを購入し日々の活動で迫力のある映像を流し大活躍しています。また紙風船ではノートパソコンを2台購入し、メンバー達の作業の取り組みがとてもスムーズになりました。

そして、事務所にもパソコンを3台、愛実の会全体の備品として車椅子のまま乗って測定できる体重計を購入し、メンバーの健康管理に役立っています。今後とも大切に活用させていただきたいと思っております。本当にありがとうございました。



【60型液晶テレビ】



【事務所用パソコン】



【車いす用体重計】

<訃報のお知らせ>

去る2012年12月12日、紙風船のメンバーである山下純さんが享年31歳で永眠されました。彼は生前より他のメンバーにもとても慕われ、信頼される存在でありました。

またおしゃれでユーモアがあって、いつもポジティブな姿勢にたくさんの方が助けられました。そして、いつも冗談ばかり言ってみんなを笑わす一方、真剣になりすぎる私たちに時に怒ったり……。彼からは、いつも「楽しむ気持ちを忘れないで！」そんなアドバイスをもらっていたように思います。

彼がいなくなりとても淋しい気持ちになりましたが、これからは彼の分までみんなの前を向いて毎日を楽しく、大切に過ごしていきたいと思っております。心よりご冥福お祈り申し上げます。



愛実友だちの家のページ

(P3~4)

忘年会 with 紙風船

今年は初の試みとして、紙風船と合同で忘年会を行いました。紙風船のメンバーと挨拶を交わしたり、人形劇に呼んでもらったりすることはあるのですが、一緒に行事を行うのは初めて。メンバーのペースやキャラクターも結構違うので、一緒に過ごせるかな？ 大丈夫かな？ とドキドキしながらも、優しい言葉に甘えて参加することにしました。

事前に紙風船のメンバー＆アシスタントが余興をしてくれるとの噂を聞きつけたあみともメンバー。余興のお礼に2013年の干支、巳の置物をfimo（オープン粘土）で作って手土産にすることにしました。当日迎えてくれる紙風船メンバーの顔を思い浮かべて気合十分、頑張っひとり3匹のノルマでヘビをこしらえました。

そして迎えた当日、メンバー・アシスタントの自己紹介をしてヘビをプレゼント。あみとも朝の歌を、紙風船のみんなも一緒に歌って踊ってくれて盛り上がりました。普段あまり馴染みのない人形劇用の楽器も使わせてもらって、メンバーは興味津々でした。その後は紙風船がいつもしているという発声練習に参加させてもらい、「幸せなら手を叩こう」「おもちゃのチャチャチャ」でリトミックのように楽しんだり、紙風船アシスタントMさんによるペットボトルマジックを観たりと、みんなでわいわい楽しみました。お昼ご飯も一緒だったので、食後の余興にと一発芸をしてくれる紙風船メンバーのサービス精神にビックリ。さすが劇団員、みんなエンターテイナーです…！ 素敵なおもてなしにお客様状態のあみともでしたが、もし今年も一緒に忘年会が出来るなら、あみともメンバーも余興をお披露目出来るように頑張りたいと思います☆ 紙風船のみなさん、楽しい時間をありがとう♪



書初&プチ新年会

お正月の恒例『書初』に今年も挑戦しました☆ 書初と言うと、筆と墨汁を使って…というイメージですが、あみともではメンバーそれぞれが好きな色の絵の具を使って新年を迎えるの抱負や目標を書きました。

躍動感あふれる文字で「動」という字を書くメンバーがいれば、周りに小さなお花の絵を散らしながら「可憐」と可愛らしく書くメンバーもいて…どの書初もメンバーの個性が滲み出た素敵な作品となりました。



また、エル・ダンジュでの新年会が待ちきれなかったあみともは一足先にプチ新年会もしちゃいました。どうせなら普段なかなか給食で出てこないものを作ろうと、みんなで好み焼き&焼きそばをホットプレートで作ることに。今回はキャベツの刻みなどの下ごしらえからメンバーに体験してもらいました。包丁を握ることが難しいメンバーは、ハンドルを回すみじん切り器を使ってもらったのですが、結構力が必要だったようでやや苦戦。それでも食いしんぼう揃いのメンバーたち、途中でフランクフルトをつまみ食いしながらも、ご飯のためにと頑張ってくれて、無事下ごしらえを終えて”焼く”工程へ。目の前のホットプレートから漂う香りやジュージュウという音にウズウズのメンバーたち。出来立てアツアツに青のりや紅ショウガなどを自分好みにトッピングして、待ってましたとばかりにペロリ。普段の給食も文句なしに美味しいけれど、自分たちが作ったものはまた違った美味しさがある様子。アシスタント以上の量を召し上がったメンバーもいて、大満足のプチ新年会となりました。



ピアノ&ミュージックベル演奏会

毎月の理事長の活動で、芸術作品のスライドや生演奏を鑑賞する贅沢な時間を過ごさせて頂いています。1月も例外ではなく、ピアニスト・越智 章仁（おち あきひと）さんによる演奏会を楽しみました。事前に越智さんのCDを頂いて、みんなでゆったりする時間にBGMとして聴いていたのですが、やっぱり生演奏は違います。迫力あるピアノの音色にメンバーもアシスタントも圧倒されました。また、越智さんのお母さんとの連弾や、弥富のほっとハウスと一緒に活動されている主任さんと係長さんによるリコーダー演奏やダンスもあって、メンバーも一緒に大盛り上がり♪ 素敵な時間を過ごすことができました。

そして2月には、ここ数年毎年来てくださっている南山幼稚園の保護者の方々によるミュージックベル演奏会がありました♪ 保護者の方々は年々少しずつ入れ替わっているのですが、それでも毎年変わらず愛実の会で演奏をしていただけることをとても嬉しく思います。あみともメンバーも自前のハンドベルを鳴らして楽しむことができるのですが、南山幼稚園のベルは音色が全然違って、まるでオルゴールのような透明感のある音なんです。透き通るような音で奏でられる心地よいメロディに、メンバーはウットリと聴き入っていました。また、南山幼稚園のみなさんには演奏会の他にご寄付の面でもご協力頂いていて、支援者のみなさんに支えられながら、貴重な経験をたくさんさせて頂いていることを、改めてありがたいなと感じました。



FC2ブログにてあみともの日常を写真いっぱい更新中★
WEB拍手等での応援、いつもありがとうございます(^▽^)
URL <http://amitomo07.blog.fc2.com/>



QRコード



大地の家のページ

(P5~6)

寒さの底もようやく過ぎ、待ちに待った春が訪れようとしておりますが、皆さまはお変わりありませんでしょうか。

大地の家のメンバー&アシスタントは元気に楽しく毎日を過ごしています！お出かけしたり、室内で活動したり・・・。

そして今年、大地の家では一名のメンバーが無事成人を迎えることができました。これからも楽しい大地の家を一緒に作っていきましょう♪

2013年、今年も大地の家を宜しく願います！

成人の祝い&新年会

成人を迎えたK・Aさん

2013年1月31日(木)、
フレンチレストラン「エルダンジュ」にて。



今年の成人のお祝いとNPO愛実の会全体としての新年会を開催しました。主役の新成人は大地の家に通うメンバーのAさんです。成人の祝いただ一人の主役とだけあって、ちょっと緊張気味のAさん&お母さん・・・。それでも大勢の人を前にも立派に大役をこなし、新成人としての風格を漂わせていました。

Aさんの生まれてから今までの写真をスクリーンで流していくと、Aさんもじっと画面を見つめてふっと笑みが浮かんでいました。・・・そしてよく見ると、大地の家アシスタントの目じりに光るものが！アシスタントにもこみ上げる想いが少なくありません。そしてなにより新成人を祝い、暖かい拍手を下さった会場にいらした全ての方に、この場を借りましてお礼申し上げます。

会の余興では、愉快的二人のクラウン(道化師)によるショーや、ソプラノ歌手の歌声、生ピアノ演奏・・・などなど豪華なものばかり。会場も大いに盛り上がりました。

そして忘れてはいけないものは、フレンチのコースの数々！前菜からスープ、メイン、デザートまで味はもちろん全てが大満足の内容でした。いつも「食の大地」と呼ばれる大地のみんなもその名に恥じない勢いで、ここぞとばかりに料理を平らげていました。食後は優雅に珈琲(紅茶)を飲みながら、余興を楽しみました。



メンバーとアシスタントが揃って正装して出掛ける機会は滅多にありません。そんな中、一年の始まりを特別な場所、特別な格好で迎えることができる新年会(今年は成人の祝いも)は、その貴重なイベントの大きなひとつです。この日を迎えることが出来たことも、ひとえにNPO法人愛実の会を支え理解して下さる皆さまのおかげに他なりません。

これからも大地の家は、明るく楽しくをモットーに日々を過ごしていきます！(今年もたくさんお出かけします♥)
応援のほど、よろしく願いいたします！

いちご狩り



2月19日（火）、名古屋市内にある「いちご畑」という場所に、いちご狩りに行きました。温室ハウスに入ると、さっそく旬のいちごの甘い香りがお出迎え……。案内されたいちご畑には、市販品の2倍以上はありそうな大粒のいちごばかりが並んでいました！ メンバーの目も真っ赤ないちごに釘付け……。♥ 目の前にいちごが出されると、満面の笑みを浮かべながら大きな口を開けて一かじり。甘い果肉を噛むごとにニコニコの笑顔は広がっていきます。いつもは酸味に敏感なメンバーも、ここのいちごは全く酸っぱくないようで口は終始もぐもぐと動きっぱなし……。

お出かけ前は、「いちご狩りで一度に沢山食べるのは難しそうだね」と心配していたアシスタントでしたが、蓋を開けたらあらビックリ！ メンバーの平均いちごの数はなんと……。15個！ 中には20個以上を平らげたメンバーもいるほどでした。いちごの大きさを考えても、まさかここまで食べたとはアシスタント達も驚きです。

さらにアシスタント一同驚いたのは、いちご狩り後に大地の家に戻ったメンバー達が普通にいつも通りの量の昼食を食べたことです。「いくらなんでもお腹一杯だろう……。 」というアシスタントの予想も大きく外れ、「それとこれとは別腹！」なメンバーは、さすがは大地の家に通う方達でした。



今年度を振り返って……

今年度も大地の家は沢山のお出かけがありました。海、横浜遠足、野球観戦、工場見学……。などなど挙げればキリがありません。もちろん大地の家はお出かけばかりではありません。「食の大地」の名に相應しく、室内ではイベントの度にケーキ、アイス、ピザ、手打ちうどん……。こちらも挙げ切れない程に沢山作って（そして食べて）きました。どれも作っていくうちにレベルが上がり、「まるで売り物！」とまで言われるようになり、次は何を作ろうかメンバーとアシスタントで絶賛相談中です♪

大地の家らしく挑戦に満ちた1年だったように思います。来年度も笑い声の絶えない毎日にしていきたいです！

最後に、来年度の大地の家、新たな挑戦を少しだけ紹介しちゃいます♪

その内容は……。今年度から始まった、少人数制「クラブ活動」を更に充実させるというものです。具体的には曜日毎に分れて活動していく予定ですが……。詳しくは次回にて！

来年度も大地の家の活躍をお楽しみに♪

日々の活動の様子など随時更新中です♪
大地の家のブログ <http://ameblo.jp/daichi-no-ie/>



紙風船のページ

(P7~10)

ようやく少しずつ温かくなり、春が近づいてきたことを感じます。2012年度紙風船では色々な場所で20回を超える公演を行う事ができました。紙風船の人形劇を見てくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。これからまた2013年度の新しい目標をみんな決めて頑張っていきたいと思っています。今後とも応援よろしくお願いします。

作品「ポーちゃん」のリメイク報告 パート2

前回に引き続きポーちゃんリメイクについての様子をご報告していきたいと思えます。最近、メンバーの配役が決定し、以前の台本をもとに新しく整理しながら、新たなストーリーづくりに取り組んできました。そしてようやくリニューアルポーちゃんの台本が形になってきたところで読み合わせスタート！セリフや流れを一つずつ確認しながら、みんな役柄を工夫して声を出しています。初めて参加するメンバーやアシスタントの中にも、少しずつ「ポーちゃん」のストーリーのイメージができてきたところかなと感じています。



今後はひたすらセリフ合わせをし、覚えていく作業に入ります。そして実際に立ち稽古での動き確認となっていきます！講師のおばら先生からは着々と人形のリニューアルが進んでいるという連絡も入り、どんなふうに変身するのかワクワクします。いつ頃発表できるかはまだ未定ですが、できるだけ早く皆さんにポーちゃんを見ていただけるよう、力を合わせて頑張っていきます☆



紙風船新年会

紙風船では1月末にちょっと遅めの新年会を行いました！

内容は、新春かくし芸大会！メンバーとアシスタントで協力して様々なかくし芸を準備しました。短期間の計画時間にも関わらず、参加者はほぼ全員。みんな出たがり勢ぞろいです（笑）。一人ひとり自分の出番を待ちわびながら、他のメンバーたちの出し物をみても笑顔になっていました。とても和気あいあいとした雰囲気の中、たくさんの笑いに溢れたひと時でした。



しっとり歌の
プレゼント♪



タヌキのおもしろ
大変身♪



ミッキーとドナルド
突然の登場にびっくり！

表現活動への取り組みスタート！

人形劇を行っていく上ではいろんなユーモアや表現力が必要だなぁ！そんな思いから、紙風船では「1人ひとりの隠れた才能を引き出そう！」と、以前行っていた表現活動の取り組みを復活させることにしました。

現在はテーマをきめて自分の思いを言葉にのせる「川柳」や相手に身振りで表現して伝える「ジェスチャーゲーム」、またいろんなセリフを自由に考える「4コマ吹き出し」などに挑戦しています。

まだ始めたばかりで手探りですが、人前で自分の想いや考えたことを発表すること、伝えようという気持ちを持って表現することを少しずつメンバーもアシスタントも学んでいけたらなあと思っています。

まずは楽しくをモットーに継続して取り組んでいけることを目指していきます！



ジェスチャーゲーム
実践中！

ボウリング大会を行いました！

今年度最後のレクリエーションは、国道一号線沿いにある「ROUND1」にてボウリング大会を開催しました。何と一位のチームには賞品があるという事で、一同闘志に燃えてゲームスタート！4チームに分かれて2ゲームのトータル合計を競い合ったのですが、なんとアシスタント以上にメンバー達がストライクを出し大健闘！とっても白熱した戦いで盛り上がることができました。

ちなみに一位の賞品は、なんと一千万円！のパッケージをしたお菓子と金メダルでした(笑)。



メンバーより一言

2012年度はボランティア公演をやり、他の福祉施設や病院でたくさんの交流ができ、私たちもいい経験が出来ました。来年度「ポーちゃん」で私もはじめて、役者に挑戦します。2013年度もあらたな出会いを求めてどんどん外へ出ていきたいと思います。

S/N

【公演だより】

第154回 2012年12月25日(火) 障害福祉サービス事業所 株式会社 あ・らいび
「ぼくたちにできること」

小牧にある施設への訪問でした。小さな会場でしたが施設の子どもたちがとても元気いっぱい、前座のマジックも人形劇も興味津々の様子でした。また紙風船の歌の場面で、ある女の子が自分でリズムをとって楽しそうに笑っていました。職員さんの話によると、そんな様子を見るのは初めて！という事でとても嬉しい気持ちになった事が印象に残っています。



第155回 2013年 2月9日(土) 名古屋ダルク(薬物依存症者回復支援の場)交流公演
「ポンタとたっくん」&「かめさんのありがとう」
紙風船デイルームにて

以前、一度一緒にチャリティー公演をさせていただいた「名古屋ダルク」の皆さんをお招きしての公演となりました。公演後お互いの事を紹介し合い、また2013年度のチャリティー公演の実現を約束し、交流できる良い機会となりました。

第156回 2013年 2月23日(土) 西区障害者地域自立支援協議会主催
西区のふくしをもりあげ隊イベント 西区役所講堂にて
「かめさんのありがとう」



ふれあいの時間

今回のイベントは、障がいのある人もない人も共に楽しい時間を過ごし、地域のみなさんに「ふくし」への理解を深めてもらう事を目的として開催されました。たくさんのゲストの方がいる中私たちはトップバッターで人形劇を上演。新作を舞台の上で演じる機会は今まであまりなかった為、いつもとはちょっと違った目線で、お客さんの様子などを感じながらの公演となりました。

公演後、再度人形をつけて会場に行き、イベントに遊びに来ていた子どもたちと触れあったり、ゲストの「竹竹バンブー隊」の音楽に合わせて私たちも会場を盛り上げていきました。今回の公演で、私たちも「ふくし」を身近に感じていただけるお手伝いが少しでもできていたら光栄だなと感じた一日でした。



竹竹バンブー隊

紙風船夢づくり基金のお願い

いつも「紙風船夢づくり基金」へのご支援ありがとうございます。今回作品「ポーちゃん」をリメイクしていくにあたり、古くなった人形の補修や道具等の制作に100万円程の費用が必要となります。私たちの活動にご賛同いただける方はぜひご協力をよろしくお願いいたします。なお、お手数おかけしますが、振り込みの際は「紙風船夢づくり」と一言明記をお願いいたします。

<メンバーの思い>

「紙風船」

成瀬早紀

自分の居場所はここだと感じメンバーの一員になって4年目になりました。はじめはねこをかぶっていて、みんなにどうやって話しかけていいかわからなかったけど、今はみんなと楽しく話をしています。

みんなと話していくうちに、自分が好きな芸能人が一緒だったりして嬉しかったです。また紙風船に行くようになって、毎日が楽しいです。

苦手なこともあるけど、今は表現活動を恥ずかしがらずに堂々とできるようになっていたらいいなあと思っています。これからも楽しく過ごして行きたいです。



<協力者の思い>

「テーマソングを歌って感じること」

アシスタント 中森由哉

紙風船が飛ぶ原動力は「風」。テーマソングの中盤に「ひとりだけでは叶うことのない夢も、みんなの思いが一つになれば大きな風になる」とあります。自分たちが集まって風を創り出すことが出来る、ということだと思います。それと同時に歌の最後に「もっと高くもっと遠くへ飛べる風を下さい」とあります。他から風を贈ってもらうことも必要だ、ということだと思います。自分たちで創った風と、他から贈られた風の両方で大きな力になるのでしょうか。

歌の前半に「出来ることから出来るだけでいい、歩き始めたんだー」という歌詞があります。この歌詞の奥から感じられるのは、出来ることが有るのか無いのか解らない、ではなく、「何か出来ることが有るに決まっている」という事実だと思います。そして、この事実をしっかり見据えて歩いていくときにその歩みそのものが風となって、紙風船が飛び続ける力の源となるのでは、と思います。

今まで愛実の会で支えられながら歩んで来れたことを感謝しております。そして、これからも紙風船にとって風の一部でありたいと思っています。

言葉の力

南 寿 樹

「ナイストライ！よく怖がらずに跳べたね」走り高跳びを失敗した良太（小3）に声をかける。良太は「くっそー」とつぶやきながらも静かに、順番を待つ友だちの列の最後尾に並んだ。

良太の担任は、ほっとした顔をしている。というのは、良太はこの授業のはじめに準備で出したウレタンマットにうつ伏せになったまま動かず、準備体操に参加できなかったからだ。

「なぜ、動かなくなったのか」…後から聞いてわかったことは、そばにいた指導者から「早く、起き上がりなさい。なにやっとなの。だめだねえ」と言われたことが癩（しゃく）にさわったと言う。——私は良太の気持ちがわかるような気がした。大府養護学校の子は「良い自分でいたい」という強い願いをもち、少しの失敗でも自分を責める繊細な子が多い。例えばバドミントンで空振りしただけで、ラケットを折ってしまうこともある。つまり「だめだ」「できない」「負けた」というような自己否定につながる感情になるとパニック（イライラが自分では抑えられない状態）になる。でも一番つらいのは本人であり、パニックになるたびに自己嫌悪になる生きにくさを抱えている。

さて、走り高跳びの授業の話に戻る。「ナイストライ！」「フォームはきれいだったよ」「高さは合格。後はタイミング」…私は子どもが失敗したときに、間髪をいれずに良い評価をすることにしている。それはパニックを防ぐ魂胆からというよりも、自分もこれまで幾度も励まされてきたことを思い起こし、「やっぱりうれしくて力になるよね」と共感したいからだ。

こんな私をカブけるようなスポーツ新聞の記事（2月14日付中日スポーツ）を読んだ。それは小出義雄（佐倉アスリート倶楽部代表）の「言葉で夢を」という見出しの体罰問題に対する提言。体罰は指導力不足の裏返しと指摘した後、次のように主張する。「何をもって選手を鍛えるか…言葉の力だよ。言葉によって選手に夢と希望を与えられれば、厳しい練習も続けられる…どんな子も探せば長所は見つかる…たとえば柔道や剣道で（道場に出てきただけでも偉い。よく出てきたなあ）とほめてあげる。野球であまり素質がない子がいたとしても（いいよ。今日はグラブに球が触ったじゃないか）とほめてあげる」それに対してQちゃん（高橋尚子）も「スタートラインに立った時、逃げ出したくなかったことがある。でも小出監督がオリンピックで勝てるかもしれないよと言った言葉を思い出して頑張っていた」と言っている。

誰にしたって「自分を認めてくれ、夢を与えてくれる言葉」は、「よし、がんばってみよう」と心の底から勇気とやる気を起こさせる心の土台になるはずだ。

またまた走り高跳びの話に戻る。失敗を繰り返しながらもその度になんとか心を立て直していた良太が、目標の100センチをきれいに飛べたとき、初めて笑顔になり私のところに走り寄ってきた。「やったー」「よかったね、おめでとう」両手をつないでふたりで3回ジャンプして喜び合った。—ほめる言葉は、自分でもできたという実感があって初めて心に届くのだろう。

良太は転校していった。（うちの学校は転入転出が頻繁にあり、まるで1年間に何回も卒業生を送り出す感じだ）「先生ありがとう。これあげる」とアニメキャラを描いたプラ板をくれた。私の机の中にはそんなプレゼントと共に手紙が溜まっていく。「ここの学校生活はめっちゃ楽しかったです」「問題ばかり起こす私をいつも支えてくれてありがとう」「遊んでくれてありがとう。また会いたいです」

——これらの言葉こそが私を元気づけてくれる。大きな心の土台となって・・・

NPO愛実の会 寄付者名(順不同・敬称略)

2012年12月1日～2013年 3月 5日

★寄付金

加藤久雄	柏木 実	徳永五郎	武嶋恵子	中森照子	中森由哉
島しづ子	伊藤まり子	藤谷真理	梅村亜恵	小池耕一	村上裕子
鄭 成子	宮川昭明	橋詰四郎	阿部健二	渡辺千夏	宇野伸一
伊藤秀章	坂田昌子	木村 純	溝口キミ子	下村徹嗣	伊藤あつ子
中沢実郎	寺田仁計	中谷塩子	リセス	細川美代子	前沢まき代
片岡輝美	尾島夫規子	高橋祐美	長谷川了示	後藤尚子	神戸一子
塚田正昭・裕美子	佐藤正幸・純子	田中美津次・民子	山下有・良子		
メネット会	平塚YWCA	矯風会名古屋	各務原教会	鳴海教会	彦根教会
南山幼稚園	・南山ファミリーYMCA	ウォーカーソン	名古屋YWCA		
栄冠幼稚園	済美高校宗教部	初島聖十字教会	日本福音ルーテル復活教会		
日本キリスト改革派金沢教会	名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園				
豊山教会	愛知教会	高蔵寺ニュータウン教会	名古屋新生教会	豊田教会	
華陽教会	埼玉新生教会女性の会	知多奥田キリスト教センター	刈谷教会		
御器所教会	豊明新生教会	名古屋中央教会	東海教会	久が原教会	

★紙風船夢づくり

中森照子	中森由哉	潮田茂子	山中美穂	林 昭碩	一條敬子
戸田真二	神谷英子	服部由岐・圭子・耕史	山下有・良子		

★物品寄付

滝村美智子 大淵真喜子 (社福) 愛知県共同募金会 (赤い羽根共同募金)

ご協力ありがとうございました。

寄付金のお願い

2012年度寄付金目標額500万円に対し、2月末現在約400万円の寄付がありました。皆さま方のご協力に感謝申し上げます。前回号におきまして、こちらの都合により振り込み用紙をご用意できなかった為、今号にて同封させていただきました。

目標達成まであと100万円を目指しあらためて寄付の呼びかけをさせていただきます。今後とも愛実の会に皆さまの引き続きのご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

<注意事項>

現在、会報の夏号・冬号送付時に寄付金振込用紙を同封させて頂いておりますが、振込用紙の通信欄に寄付先の項目が記載されなくなりましたのでご了承下さい。「紙風船夢作り」へのご寄付に関しましては、お手数ですが通信欄にその旨を記入して頂きますようお願い致します。(記載がない場合「寄付金」として取り扱います。)

任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」受付分(順不同・敬称略)

近藤 洋	菅野明子	鶴崎祥子	塚田多佳子	門山勝利・むつ子
大藪礼子	亀田隆子	聖天伝道所	臼田治子	榊原喜代子
松下智恵子	八事教会	宮川 等	見木靖美	吉谷尚之(複数回)
桐村 剛	金城教会	中部学院大学	ヨナワールド家族会	
豊橋教会ひつじの会	世真留愛敬幼稚園	岡崎茨坪伝道所		
在日大韓基督教大阪教会女性会				

ご協力ありがとうございました。

【ボランティアで協力いただいた方】

ルーテル復活教会様(給食ボランティア)
 越智章仁様(ピアノ演奏) 南山幼稚園保護者様(ハンドベル演奏)
 森 重治様(人形劇公演ボランティア)



【新年会ゲスト】

金山正一様(ピアノ演奏) 渡部千枝様(ソプラノ歌手)
 パフォーマン斯拉ボ(クラウン2名)

ご協力ありがとうございました。

【所在地・連絡先】

特定非営利活動(NPO)法人 愛実の会

- 居宅介護事業所あみ(ホームヘルプ)
- 障がい者デイセンター愛実(生活介護)

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24
 TEL: 052-693-5897 FAX: 052-691-7889
 E-mail info@aminokai.com
 ホームページ http://www.aminokai.com

【NPO愛実の会】寄付金のお願い

郵便振替 座番号 00850-6-187490
座名称 特定非営利活動法人 愛実の会 101,000円 何口でも結構です

- ◆ 寄付金(賛助会費・土地建物取得費用・その他NPO愛実の会の活動に関する費用)
- ◆ 紙風船夢づくり(人形制作費、公演活動に関する費用とする)

* なお「紙風船夢づくり」への寄付の場合は、通信備考欄へ紙風船夢づくりとご記入ください。記載がない場合は寄付金扱いとなります。

※ 年2回(夏号と冬号)に「振込料金加入者負担」の「払込用紙」を同封させていただいています。ご利用下さい。